

一般質問 (9月議会)

9月11日から19日までの9日間を会期として開かれた9月定例町議会で、3議員から6項目の一般質問が行われ、町執行部からは次のような答弁がありました。

環境問題

問 ①全国的に大きな問題となっているダイオキシン対策だが、当町が加入している山武郡環境衛生事業振興組合ではどのように対応しているか。②町内各公共施設の焼却炉の使用状況は。③各家庭の焼却炉使用について、今後どのように指導していくのか。④当町では、環境基本条例等の策定予定はあるのか。

答 ①ダイオキシンは、プラスチックや紙、木材などに含まれるベンゼン環と、ポリ塩化ビニールや残飯などに含まれる塩素を焼却することによって発生する毒性の強い物質で、人体に悪影響を及ぼすことから、国際的にも大きな問題となっている。このため、昨年県の指導によって、当町が加入している山武郡環境衛生事業振興組合のごみ焼却施設を測定した結果、基準値(80ng)以下の64・5ngであった。しかしながら、更にダイオキシンを抑制するため、今年の8月にごみを一定量送るための

給塵機を設置、10月には炉の中に発生したガスを燃焼させるための再燃バーナーを設置し、11月に再度ダイオキシンの測定を実施することになっている。②文化会館は平成4年8月から、役場では平成8年7月から焼却炉の使用を中止し、環境衛生事業振興組合へ分別して出している。学校や保育所等については、予算的な問題もあり、現在は一部を焼却処分しているが、今後は現場ともよく協議し、なるべく早い時期に焼却炉の使用を見合わせるようにして行きたい。③昭和52、53年にかけて、町で簡易焼却炉の設置を奨励したこともあり、現在は町内の約半数の世帯で焼却炉を使用しているものと思われる。ごみは分別して環境衛生事業振興組合に出してもらうことが最も望ましいが、当分の間は、焼却してもダイオキシンの発生しない物は家庭で、発生元となるプラスチックや残飯等は環境衛生事業振興組合へ出すよう指導していきたい。④国は、環境問題の構造変

環境や福祉、交通安全対策などで論議

化や地球環境問題に対応するため、平成5年11月に公害対策基本法に替わり「環境基本法」を施行、公布し、平成6年12月には同法の基本理念と施策を具体化していくため「環境基本計画」を策定した。また、千葉県では、平成7年3月に「千葉県環境基本条例」を、同年10月に「千葉県環境保全条例」を施行。そして、昨年8月に環境保全に関する施策の計画的な推進を図るための「千葉県環境基本計画」を策定、公表した。当町では、現時点では町独自の環境基本計画



の策定予定はないが、県の施策に協力して地域の環境保全に努める考えである。なお、今後は、多様な環境問題に対処するため、環境条例の制定についても検討して行きたいと考えている。

高齢者対策

問 わが国は、世界的にも類を見ない超高齢化社会に向かっていくが、当町では、今後どのような長寿社会を目指して行こうとしているのか。

答 当町は、65歳以上の人口の占める割合が19・64%と全国平均よりも高齢化が進んでおり、先に策定した第3次基本計画の中でも「介護サービスの充実」や「お年寄りのみなさんが社会参加できる環境づくり」など、21世紀の高齢化社会に向けた方向づけをした。先般、町内の高齢者のみなさんのお宅を訪問したが、90歳以上の方々も大変お元気であった。これから長寿社会を迎えるにあたっては、健康で日々の生活が送れるような保健指導、健康相談等を行なう一方、介護が必要なお年寄りについては、ボランティア活動を充実させ、お年寄りが安心して暮らせる

地域社会の実現を目指したいと考えている。

海岸及び水環境整備

問 ①現在、海岸地域で進められている各事業の概要を説明してもらいたい。また、これらの事業を町の観光開発と結びつけることはできないのか。②水環境整備のため、今後、どのような事業が計画されているのか。

答 ①漁港区域に係る海岸保全区域は、銚子漁港事務所において平成3年度から海岸護岸、遊歩道、植栽などの公園整備が進められ、本年度ではほぼ完成。既に完成した部分から利用されており、特に夏場は大勢の利用客で賑わっている。また、漁港区域を除く海岸線は、現在、県土木部及び北部林業事務所において、背後の保安林区域と一体となった「白砂青松の復元」を目的とした海岸整備が進められており、この事業によって海水浴と森林浴が同時に楽しめる潤いのある生活環境の整備が図られていく。この他、防災対策として、昨年度から防潮堤の高上げ工事が進められており、これが完成すると高潮等による浸水は、

完成すると高潮等による浸水は、